



## 【ゼロ人生・一生感謝①】

説教者: 鄭南哲牧師

今日の聖書本文: 詩篇103篇1-5節・今週の暗唱聖句: テサロニケ人への手紙第一5章18節

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！ 一週間みんなお変わりありませんか。お元気でしたか。

\*アメリカでは毎年11月の第4木曜日、カナダでは毎年10月の第2月曜日になっています。日本のプロテスタント教会では、収穫感謝日(しゅうかくかんしゃび)と呼んでいます。アメリカの収穫感謝際(日)の由来(Thanksgiving day&worship)は、信仰の自由を捜し求め、イギリスからアメリカに渡ってきた清教徒(Puritan)と呼ばれる人たちが新しい土地での初めての収穫を神様に感謝の礼拝を捧げたことが起源だとよく言われています。

1620年代、イギリスの敬虔なクリスチャンであった清教徒たちは、信仰の自由を捜し求め、1620年9月16日、102名【メイフラワー号(Mayflower)】が乗って、アメリカという新大陸に向かいました。翌年1621年11月16日に結局、現在のプリマス(Plymouth)に上陸・最後の生存者:47人だけでした。彼らは、自分たちの家や学校を建てる前に、まず、町の中で教会を建てました。

多くの犠牲を払いながら土地を耕し、そしてついに始めて刈り入れをしたときに、**出エジプト記(Exodus)23章16節**の御言葉に従って、神様に収穫感謝礼拝を捧げたのが、収穫感謝日(際)(Thanksgiving day)の由来です。

**「また、あなたが畑に種を蒔いて得た勤労の初穂の刈り入れの祭りと、年の終わりに、あなたの勤労の実を畑から取り入れるときの収穫祭を行わなければならない。」**この御言葉に従い、初の収穫の物を持って、神に感謝の礼拝を捧げ、後周りの住民たちに感謝を分かち合いながら、その食べ物を分け与えました。

**「16キリストのことが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かって歌いなさい。17あなたがたのすることは、ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。」**(コロサイ人への手紙3章16-17節)

みなさんは、神の御前にどんな感謝を持ってささげようとしているでしょうか。今日もう一度今年ここまで守られ、導かれて来た主の恵みを振り返り、感謝を見出し捧げ、また周りの人々に感謝を分かち合う主の日、今週一週間となりますように切にお祈り申し上げます。現代の**ヘブル語で感謝という言葉の意味は、(トダ(todah):thanks!・トダ ラバ:so thanks!)**

## 1. 一生感謝の人生はささやかな感謝から始まります。

エリザバス・ノーベルという人が書いた「少し」という詩を紹介したいと思います。

**「砂糖をほんの少し入れるだけで、料理の味を変えることができる**

**石鹸をほんの少し使うだけで、体のとこかをきれいにする**

**日差しがほんの少し差し込むだけで、新芽(しんめ)が力強く育てられる**

**鉛筆がほんの少し残っているだけで、美しい文を一筆(いっぴつ)書く事ができる**

**ろうそくがほんの少し残っているだけで、周囲を明るく照らす事ができる」**

実は我らの日々の生活は大きな事によって左右されるのではなく、このようなわずかな違いが、月日が経つにつれて幸せな人生と不幸な人生との差をもたらすという意味だと思えます。小さな信仰の一つの習慣が、多く祝福され用いられる人生を作り出し、失敗の人生をも作り出します。良い信仰の習慣一つを体に覚えこませれば、その人の人生は、今までとは違うものになり、変わるでしょう。一日ささやかな、小さなことに感謝しただけでも、その日は幸せで特別な人になります。**感謝する事を訓練して感謝の習慣を身につける事ができるなら、間違いなくその人の人生は一生感謝し続ける、幸せな者となると信じます。**

ユダヤ人の知恵の本であるタルムードには、「**世界で一番知恵のある人は学ぶ人であり、世界で一番幸せな人は、感謝しながら生きる人である**」という言葉があります。

感謝しながら生きる人は、そうでない人よりずっと健康で幸せである事を表す言葉ではないでしょうか。実際感謝しない心と肉体は病気にかかりやすく、大体不幸を感じやすくなります。

**人体は感情に敏感に反応します。実際感謝すると心臓と脈が安定させ、胃腸(いちょう)の働きを助け、消化を促して気分や情緒までさわやかにさせるため、人はもっと健康になるようにさせると言われています。**

なので、**感謝する人は癌や鬱病などいろんな病気から守られ、予防ができる大事な習慣の一つであることを覚えましょう。**

反対に、**習慣的にネガティブで、不平をよく言うことは、血液循環を妨げ、体を緊張させ、脈を速めると同時に、胃腸の働きを遅くさせ、胃に入ってくる食物の消化を拒否し、結局体に支障と負担を与え、健康にも害を与えてしまうと言う事です。**

ですから、愛するクリスチャンプレイズの信仰の家族のみなさん！

何かを持っている持っていないに関わらず、感謝して生きる側が健康で幸せな人生を送る可能性がさらに高くなるのです。

ルヒルティという人は彼の著書「幸福論」の中で「**幸福の最初の条件は感謝である**」と言いました。

幸せはどれほど持っているものに比例(ひれい)するのではなく、感謝する心に比例するものであるという意味ですよね。

幸福というのは、ないものに関心を寄せることではなく、今自身にあるもので満足することです。与えられているもの、ある物を大切に思い、感謝する人が幸せな人生を送る事ができます。ないものに対する不平が、あるものに対する感謝に変わるときこそ、主にあつてまことの幸せな人生の始まりになると信じます。

## 2. 感謝の言葉の意味

それでは感謝の言葉の意味は何でしょうか。共に確かめて覚えておきましょう。

「感謝」を表す英語は「thank」と、「考える」という単語「think」は、語源が一緒です。ドイツの有名な哲学者であったマルティン・ハイデッガー (Martin Heidegger) は、「考えるということは感謝することだ」と言いました。また、イギリスにある清教徒教会の壁には、「考えなさい。そして感謝しなさい。」という言葉が刻まれているみたいです。さらに興味深いのは、「考える」は、「記憶する、覚える」の語源と関連しているという点ですが、ヘブル語「考え」、「記憶」、「感謝」は、同じ血筋にあたる兄弟のような言葉なのです。ですから「感謝は、単純にその時、その時感じるありがたい気分的情緒(じょうしょ)的反應ではなく、考え、記憶する認識と意思の領域である」と言う事です。

この感謝の意味が今日の本文に出ていますが、今日の詩篇の本文に2節に「主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」という御言葉があります。ここで、感謝という意味は「神様が今まで自分に良くして下さった事すべてよく忘れないで覚えつつ、御名をほめたたえる事」が聖書の感謝の意味である事がわかります。今まで歩んで来た人生を考え、神様が与えて下さった事を当たり前と思わず、神の恵みとして覚え、感謝を捧げる人生は、さらに一生で良いで満たされ一生感謝出来るということです。しかし、大部分の人は見過ごして、その時感じるありがたい気分的情緒(じょうしょ)的反應で感謝している時が多いので、最近あんまり感謝する事が無いと思込んでしまうのではないかと思います。今年中にも神様が今まで自分のために成して下さった事や、与えて下さった事を忘れていなければ、それをいつも覚えているなら、いつも感謝を忘れる事はないかも知れません。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！感謝する(thank)という言葉は、考える(think)という言葉は語源だと言いました。これはこのようにも解釈できるかも知れません。考えをさえ変えれば、感謝できないものはないという意味が含まれているのです。1969年、イスラエルの首相となったゴルダ・メイアという女史(じよし)は、自分の自叙伝(じじょでん)で次のような告白をしています。

“私は自分の顔が美しくないことを感謝する。私は不器量(ぶきりょう)だったので、いつも人ではなく、神様に頼り謙遜に祈りました。そして、わたしは一生懸命勉強しました。私の弱みは、この国にとって助けとなった。絶望は神様の召命を悟る機会となったのです。”彼女はイスラエルの首相として勤めた12年間、国民たちに知らせることなく、白血病と闘いながら、職務を誠実に全うしました。弱気になるたびに神様に信頼し、どんなに辛い時でも、首相としてなすべき仕事を少しもおろそかにしなかったのです。神様が下さった大切な職務や責任を、常に尊いものとして受け入れ、感謝の生涯を送ったのです。一生感謝は神様が我らに与え、成して下さった事を忘れず、深く考え、覚えときこそ可能なことだと信じます。(神様が私に与えて下さったことを忘れないように、覚えるためには、聖書の御言葉と祈ること、お互いの愛を通して可能)

### 3. 一生感謝出来ない事はないです。

以前何度もみなさんに紹介したことがあります。心理学者の中アーニー・ゼリンスキーという人は、感謝を妨げる心配について次のような研究結果を発表しました。

「心配の40%は、「決しておこらないこと」であり、心配の30%は、「すでに起こってしまった事」であり、心配の22%は、「取るに足りない事」であり、心配の4%は「私たちの力ではどうにもならない事」であり、後最後の心配の残り4%は、「私たちが変える事の出来る事」である」という内容でした。

つまり心配したからと言って、私たちが解決できるものは何もなく、感謝を失い、感謝出来ない妨げ、苦しませるようなことであることが分かります。実は私たちは日常生活の中で、くだらない心配で、くよくよしながら感謝もできず、感謝をずっと忘れて人生を浪費している時が多くあるのではないのでしょうか。

「ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。労苦はその日その日に十分あります。(マタイ6:34)」この主の御言葉は将来の事、先の事によく心配したがる我々に、心配するなということです。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！よく考えて見て下さい。

心配や問題が解決した時だけ感謝する事ができ、幸せであると錯覚すると、我々の生涯、感謝と幸せは手でつかむことのできない虹(にじ)となってしまうのではないのでしょうか。月日がたっても状況はなかなかすぐ変わらないものなのに、続けて自分の周りから感謝と幸せの理由を探しているうちに、人生は水のようにざっと流れていってしまいます。

だからこそ、人生のすべての瞬間に、まず、そこで感謝できる事を探さなければならないのではないのでしょうか。

今あるすべての問題を解決して、平穏な状況が訪れるまで喜びと感謝を先延ばしにするなら、生涯、心配の森から抜け出すことは決してできないと信じます。

みなさん、今自分には決して感謝する事がないと思っているのでしょうか。しかし、深く考えて見ると、感謝ができないことはないのです。

自分が何の努力もしてないのに、人の心臓は、一日10万回ほど鼓動(こどう)しています。

体内の血液は、一日に約2億7千万キロメートルを流れ、一日呼吸(こきゅう)の数は2万3千回ほどであります。

決して人がわざと努力して心臓が動き、血液を流しているではありません。肺は、黙っていても休まずに今も呼吸しています。みなさん、これらすべてのことに、若干の狂いが生じると、それだけですぐに命に支障を起こしてしまいます。人が努力せずに心臓が動き、肺が呼吸してくれる事だけでも、神様の恵みに感謝すべき理由が我々にあるのではないでしょう。

電気代を細かく計算して見た事があるでしょうか。我が家の電気代は一ヶ月の平均で約5千円ぐらいで、一年では約6万円になります。しかし、365日、一日も欠かさずに利用している日光のさらされていることに日光の値段を、料金として計算するとどのくらいになるのでしょうか。神様が日光の値段を請求書にして渡されるなら、その使用料を払える人は果たしてどれぐらい



いるでしょうか。神様が下さる太陽は、光だけでなく、適度な温度も与えてくださり、これによって動物、植物は生きる事ができるでしょう。しかし、神様が下さる日光代は、すべて無料であります。

病院で人工呼吸器を使って見た事がありますか。実は人工呼吸器の一日に実使用料は約3万円ぐらいがかかるらしいです。ところが、私たちは、毎日3万円ほどの酸素を無料で吸っているのを考えた事があるでしょうか。神様から空気使用料の請求書を見せられたら、家を売っても払うことはできないでしょう。一生の間自由に酸素を吸わせてもらっているだけでも、十分に感謝の理由になるでしょう。

我々はよく考えて見ると、実は私たちにはただで与えられているものが、どれほどたくさん与えられているのかわかりません。恵みということばは、値なしに与えられるという言葉です。実は私たちに命や救い、自然、水や空気、太陽、信仰、救いなどまで、神様から恵みとしてただで受けています。

それでも私たちは感謝する事が自分にはあんまりないと言いながら、もっと自分の基準での感謝できる欲を持っているのではないのでしょうか。

欲の眼鏡をかけた目には足りない物ばかりしか見えないかも知れませんが、感謝の眼鏡をかけると、値なしで頂いているものばかり見えてくると信じます。

「今あなたには感謝すべき理由がある」という文を読んだ事があります。

「もし、今あなたの家に電気がつながっていれば、この世で電気の恵沢(けいたく)もなく生きている20億を超えている人々より、感謝すべて理由があなたにはあるのだ。もし、あなたの家に水道の施設ができていなら、そうではないため、どんな汚い水でも飲まなければならない10億を超える人々より、あなたは感謝すべき理由を持っている人だ。もし、あなたが一日一食でも食べれるなら、8億以上の栄養失調で苦しんでいる人たちより、感謝すべき理由があなたにあるのだ。あなたが一日100円以上で使える事ができるなら、今日も100円未満で生きている12億の人々たちより感謝すべき理由があなたにはあるのだ。

もし、あなたが今日の朝、目を冷めた時病気なく、元気だと感じる事が出来たなら、あなたは今週生き残る事が出来ない約百万人の人たちより、感謝の理由を持っている人だ。もし、あなたが戦争の危険や投獄される孤独や苦しみ、あるいは飢えの悲痛を一度も経験したことがないなら、あなたは世界の5億人の人たちより、感謝の理由があなたにはあるのだ。

もし、あなたがしつこく苦しめられる事や逮捕拷問(ごうもん)または死の恐怖を感じることにし、教会に行く事が出来るなら、あなたは世界の30億人の人たちより、あなたには感謝すべき理由を持っているのだ。

もし、冷蔵庫に食料があり、着る服があり、頭の上に屋根と寝れる場所があるなら、あなたは世界の75%の人たちより裕福で恵まれている人だ。もし、銀行に預金があり、お財布にお金があり、家のどこかに小銭を入った入れ物があるなら、あなたはこの世界の中で最も裕福な上位8%のうちの人である。もし、この聖書を読む事ができるなら、あなたはまったく文字の読めない世界中の20億の人々よりずっと感謝の理由がある人だ。」

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！今も自分には特に感謝することがないと思う方がいらっしゃるでしょうか。必ず、神様は我らに感謝出来る、感謝すべき理由をすでに与えて下さっているのです！

幸せは持っている所有に比例(ひれい)するのではなく、感謝に比例します！

自分の人生のすべてのことが感謝として受け止めれば、それに比例して幸せも大きくなるのです。

#### 4. どうやって一生の感謝ができるか？:ゼロ人生・ゼロから感謝

ではどのようなことに感謝ができるのでしょうか。お金をたくさん稼いだ事、持っている家が何倍にも値上がった事や商売がうまくいくこと、良い学校に進学したこと、職場に就職できたこと、子供がよく育っていることなどは、すべて感謝する対象ともなりますが、聖書は、このような感謝は神を信じなくても、世のだれでも、誰にもできる感謝だと言っています。

イギリスのある記者が有名な劇作家であったパーナード・ショという人を訪ね、次のように質問をしました。

“世界のすべての本が燃えても、残さなければならない本があるとしたら、それはどんな本だと思いますか。”

すると、彼はこのように答えたそうです。

“旧約聖書の中あるヨブ記でしょう。ヨブは持っていたすべてのものを失い、貧しくなっても、病気になるでも、子供たちを失っても、自分に家族として一人しか残らなかった妻さえ裏切っても、それでも感謝を失われず、神に感謝ができる人だったからです。”

聖書には2930人ほどの多くの信仰の人物たちが出ていますが、神様がサタンの前で人柄を二度もほめて下さった人物が、ヨブのほかにはいません。彼が持っていた財産は想像できないほど多く、10人の子供にも恵まれていました(ヨブ1:3)。何一つ持っていないものはありませんでした。しかし、ある日突然彼の人生に理由も知らないままひどい災難が訪れ始めます。莫大な財産は一瞬にしてなくなり、10人の子供たちを一日でみんな失ってしまいました。さらには自分の健康まで病気を受け、愛し、信頼していた妻にまで、神を呪って死ねよ！と言われながら夫ヨブから離れてしまったのです。

理由も分からないまま、財産、名誉、健康、家族、友達などすべてを取り去られるという惨めな人生の時をヨブは体験しました。しかし、ヨブの信仰と感謝は揺るがなかったです。彼は最後まで挫折することなく、忍耐し続け、自分の信仰と感謝を硬く守り通しました。彼は自分の大切な全てを失う悲劇の瞬間にあっても、むしろ神様を賛美し、感謝を捧げていました。

**「20このとき、ヨブは立ち上がって上着を引き裂き、頭を剃り、地にひれ伏して(神に)礼拝し、21そして言った。「私は裸で母の胎から出て来た。また裸で私はかしろに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」**ヨブはこれらのごとにおいても、罪に陥ることなく、神に対して愚痴(ぐち)をこぼすようなことはしなかった。」(ヨブ1:20-22)

ヨブの感謝は無条件の感謝そのものでした。なぜこういう事ができたのでしょうか。

**「主は与え、主は取られる。主の御名をほむべきかな」**

ヨブは神の前での自分はしばらくあった地上でのものすべてはただ神様からのものですから、いつかかならず神様に全部返さなければならない、つまり、神の前で自分のものは何もないゼロの人生である事を忘れていなかったからゼロの感謝、無条件の感謝ができたのではないのでしょうか。そのため、どんな時にも一生感謝ができたと思えます。

ヨブは自分のすべてのものを神様に完全に明け渡していました。

ゼロからの人生、ゼロの感謝！を悟った心から悟り、認めた瞬間、一生の感謝の人生が本格的に始まると信じます。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん、

今自分が持っていて、使っている物は、本当は自分の物ではありません。生きている間しばらく神様から預かって、使っているだけです。ゼロの感謝は、すべてが感謝の対象になるようにさせます。服一枚、ご飯一食、靴一足、本一冊、お水一杯、短い休息の時間にも感謝するようになるでしょう。ゼロの感謝は、すべてを神様から頂いたと認める謙遜な心なのです。

愛するみなさん、金持ちが感謝できるのではなく、心が神の御前で謙遜な人のみが感謝する事ができるのです。

なので、感謝は謙遜な人々に下さる神様からの贈り物に間違いありません。

**「すべてのことについて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」**

**(テサロニケ人への手紙第一5章18節)**

## 5. 最高の感謝

では、私たちがささげることのできる最高の感謝とは何でしょうか。

それは、自分を救ってくださった神の恵みに感謝する事であり、神様が私たちに救いを贈り物として与えて下さったからです。

**「あなたの神、主は、あなたのただ中において、救いの勇士だ。主はあなたのことを大いに喜び、その愛によってあなたに安らぎを与え、高らかに歌ってあなたのことを喜ばれる」と。(ゼパニヤ書3:17)」**

我々に罪による永遠の死から、永遠の命に移されたことよりもすばらしい奇跡が、尊く、価値のある贈り物が他にあるでしょうか。神様が御子イエス・キリストを与え、私たちのすべての罪を贖ってくださり、罪と絶望の中にいた私たちを救いに導いてくださった事を！だからこそ私たちは、イエス様の十字架を見上げて感謝しなければなりません。これがすべての感謝の基本であり、始まりであります。救いの恵みに対する感謝は、決して忘れてはならない、他のどんなものとも比較できない、最高の感謝であります。今年も人生のいろんな問題に、あるいは今も、苦しんでいる方がいますか。

もしそうなら、原点に立ち返って、神の救いの恵みの事を考え、最初の感謝を回復しましょう。

**「神が造られたものはすべて良いもので、感謝して受けるとき、捨てるべきものは何ともありません。(第一テモテ4:4)」**

アメリカを建国(けんこく)した清教徒(せいきょうと)クリスチャンたちはささげものについて二つの責任を強調しました。

一つは、神様に感謝を捧げるべき責任であり、もう一つは、困っている隣人に分け与えるべき責任だったのです。

そのため、清教徒クリスチャンたちが建国したアメリカでは、富を社会に還元(かんげん)する国の始めの時から寄付の文化が定着されている事が分かります。ビルゲイツ、パフエジット、カーネギー、ロックフェラー、ヘンリフォードなど、私たちがよく知っている人たちは、お金を稼いだだけではなく、それを豊かに分け与えた人たちでもっと有名な人たちです。彼らは、自分たちに財産を築き上げさせてくれた国や教会、市民のために感謝の心を表して、教会や地域の福祉施設である図書館や学校、孤児院、老人ホームなどを建てて、その恩に感謝を表したのです。それはすべてアメリカの国が始まるころの清教徒クリスチャンたちが神様に2つの責任を保った事が国の根本と土台になったから今日までその信仰と精神が流され続けている国となっています。

我々にも同じ責任が与えられています。神様に感謝を捧げるべき責任、そして困っている隣人に感謝を分け与える責任です。その責任を果たしているうちにいつの間にか自分自身が、家族が、教会が、この町、この国が変わって行くと信じます。

メッセージを閉じたいと思います。愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！

私たちに感謝できない理由はありません。収穫感謝主日を通して、今日から、改めて一生感謝の人生を送れるように、神様の前で改めてゼロからの人生、ゼロの感謝をいつも覚え、実践していきましょう。

共に主において一生感謝しつつ、共に歩みませんか。

願わくはクリスチャンプレイズ家族もみんな残りの今年も、感謝で閉じ、感謝感謝で新しい新年を迎え、新しくスタートできるように切にお祈り申し上げます。クリスチャンプレイズチャーチの全神の家族みんなに消す事ができない“一生感謝！”という信仰と生き方が心にちゃんと刻まれ、その言葉通りに、残りの日々の生活と人生に、ますます感謝がみなさんの人生を覆い、満ち溢れさせてくださいますように主イエスキリストの御名を通して祈ります。アーメン！